



自転車の娘 注意力散漫で心配

小学4年の娘が注意力散漫です。自転車で出掛けた時、先頭に行く娘に「止まって」「右に曲がって」などと声を掛けても全く耳に入らないよう。怒鳴りつけるような言い方でやっと振り向く具合。5歳の息子はしっかり止まります。歩行者と自転車が区別された歩道では自転車レーンを走るよう教えているせいも、レーンに歩行者がいても隙間を走り抜けようとしてます。歩行者と距離を取ると、一時的に歩行者レーンを走るなど、もう少し状況判断できないかと思えます。よそ見して電柱にぶつかったこともありました。学校生活にも支障が出ていないか、心配です。

先生、教えて！

子育て・教育相談コーナー



仙台市青葉区

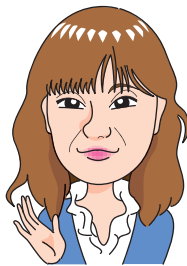
30代・会社員

からの質問

●回答してくれた人

畠山 厚子さん

はたけやま・あつこ 仙台市出身。仙台市住吉台小、鶴谷東小校長を歴任。2019年4月から宮城県NIE委員会コーディネーターを務める。



危なっかしい自転車運転のお子さん、事故が心配ですね。良好な人間関係や社会生活を築くスキルを身に付ける「ソーシャルスキルトレーニング(SST)」があります。コミュニケーション能力向上のため、導入する学校も増えています。

自転車の乗り方なら出掛ける前にコースを地図にし、「ここで止まる」「人や物にぶつからないよう走る」などをゲームや話し合いでイメージさせます。人とぶつかったらどうなるか、役割に分かれて劇化(ロールプレイ)し考えさせます。後で良かった点は褒め、できなかった点を振り返らせると、徐々にできるようになると思います。

友達との付き合い方では、さ

多様な場面想定させて

まざまな場面(例えば遊びに入れてもらう場面など)を想定し、自分や相手の役になりロールプレイします。相手に気持ちよく伝わる話し方を家族で話し合うのも効果があり、学校生活にも応用できるでしょう。

お子さんは一度身に付いたルールを変えるのは、苦手かもしれません。どう行動すればいいか考えさせたり教えたりして、柔軟に行動することを学ばせることも大切です。

命に関わる場合は大声の注意は必要ですが、普段から怒鳴るように叱っては萎縮して自己肯定感の低い子になってしまいます。長所や得意なことを伸ばしつつ状況をみて行動できるよう粘り強く声掛けしてください。

このコーナーは保護者からの子育てや教育についての相談を募集しています。メール、郵送のほかQRコードから応募できます。

▶記入事項 氏名、年齢、職業、住所、家族構成、電話番号、メールアドレス

▶宛先 〒980-8660 河北新報社こども新聞係。メールアドレスkyopro@po.kahok.u.co.jp

